



Microsoft 365 のバックアップ が重要である 7つの理由

Microsoft 365データの
保護を必要とする理由



はじめに

Microsoft 365のデータを管理できていますか？必要なアイテムを全て入手できますか？多くの方は、「当然できている/できる」か、「Microsoftが全て対応している」と回答するでしょう。でも、よく考えてみてください。それは本当でしょうか？

Microsoftはあらゆる分野に対応しています。Microsoft 365のインフラストラクチャを管理し、ユーザーの稼働時間を維持することで、お客様に素晴らしいサービスを提供しています。しかしその一方で、お客様のデータの責任は、「お客様自身」にあるのです。「データのバックアップはユーザーの代わりにデフォルトでMicrosoftがやってくれる」と多くの人が誤解を抱いています。標準のMicrosoft 365ライセンスにはデータの包括的なバックアップは含まれていません。データの責任の所在が放置されている状況においては、この考え方を変えなければ致命的な影響が生じる可能性があります。

目指すべきゴールは、Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive for Business、およびMicrosoft Teamsのデータへ確実にアクセスでき、管理できる必要があります。さらに、バックアップインフラストラクチャの管理をしたくない場合でも、手動による継続的な管理や保守なしですぐに導入できるバックアップサービスがあります。カスタマイズ可能なデータ保護への即時アクセス、超高速復元、常に制御できるという自信について考えてみてください。それらのものがなければ、どのようなリスクがあるのでしょうか。

このレポートでは、利用するソリューションにMicrosoft 365バックアップがないことにより生じる危険を探ります。Microsoft 365のバックアップソリューション、特にクラウドベースのバックアップサービスが、いかに長期間の保持とデータ保護のギャップを埋めるのか、そして現代の組織にとって真に不可欠なものであるかをご説明します。



「Sun Chemicalは真のグローバル企業です。世界中に広がる従業員は、日々、重要なデータのやり取りにMicrosoft 365アプリケーションを利用しています。Veeam Data Cloud for Microsoft 365は、当社の環境の中でも特に重要なこの部分を保護しており、従業員の生産性向上を支援し、サイバー回復力をさらに強化しています。」

Stuart Hudson

グローバルITインフラストラクチャー・シニア・マネージャー

戦略的インフラストラクチャプログラム – AP、Sun Chemical社

Microsoft 365に関する大きな誤解

Microsoft 365データの保護と長期間の保持に関して、Microsoftが認識している責任と、ユーザーの実際の責任の間で誤解が生じています。標準のMicrosoft 365ライセンスでMicrosoftが提供している回復力と保持力は、ユーザーが自分たちに提供されていると考えているものは、多くの場合異なります。つまり、Microsoft 365が用意している標準的な対策のほかに、ユーザーは、自分のデータを管理できるレベルと、データに対する実際のアクセスの範囲について、見直す必要があるかもしれません。

Microsoft 365では地理的冗長性が提供されていますが、これは多くの場合、バックアップと誤解されています。地理的冗長性は、サイトやハードウェアの障害に対して保護するものです。もしインフラストラクチャがクラッシュしたり停止したりした場合でも、ユーザーは生産性を保つことができ、多くの場合、こうした根底の問題には気付きません。一方、バックアップは、データの履歴コピーが作成されてから、本番環境とは別の場所に保管される場合に行われます。これにより、Microsoft 365内で何が起こってもデータのコピーが確実に存在し、復元という選択肢も常に利用できます。

バックアップは、地理的冗長性以上に、組織の最終防衛線です。しかし、バックアップを備えることと同様に重要なのは、バックアップに直接アクセスでき、管理できるようにすることです。データが消失したり、意図せずに削除されたり、あるいは悪意ある攻撃を受けた場合には、迅速に復元できるという確信が必要です。

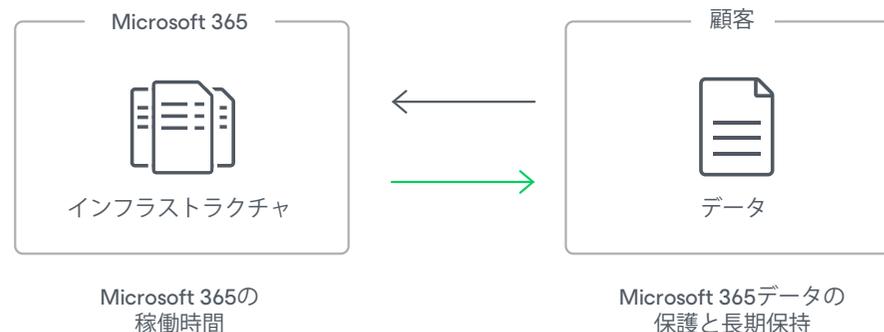
Microsoft 365では責任が共有されます

認識

Microsoftがすべて対応してくれる。

現実

インフラストラクチャはMicrosoftが管理しますが、データに対する責任はお客様にあります。



「すべてのクラウド展開タイプについて、お客様のデータとIDはお客様が所有します。」

出典：<https://learn.microsoft.com/en-us/azure/security/fundamentals/shared-responsibility>

Microsoft 365のバックアップ計画が重要である7つの理由

堅牢で高機能なSoftware as a Service (SaaS) プラットフォームとして、Microsoft 365は、多くの組織のニーズに完全に対応します。Microsoft 365は、ユーザーのビジネスが停止しないよう、アプリケーションの可用性を提供し、稼働時間を確保しますが、包括的なバックアップソリューションは、その他の多くのセキュリティ脅威からユーザーを保護し、安心感と堅牢なデータ保護を提供できます。

お客様やお客様の上司は、「ごみ箱で処理しておけばおそらく大丈夫だろう」と考えているかもしれません。多くの人はここを誤解しています。データ漏洩が発覚するまでの時間は約140日と、驚くほど大きなギャップです。何らかのデータが消えた場合、ごみ箱で処理したがために、気づいたときには手遅れになってしまった、といった状態になる可能性が大いにあります。そして、これは最も差し迫った問題からは程遠いものです。

出典：<https://info.microsoft.com/rs/157-GQE-382/images/EN-GB-CNTNT-eBook-Security-HolisticVision.pdf>

Microsoft 365に移行した世界中のITプロフェッショナル数百人に話を聞いたところ、データ保護における7つの脆弱性が上位に挙がったそうです。



1. 意図せぬ
削除



2. 保持ポリシー
のギャップと
混乱



3. 内部からのセキュリティ
脅威



4. 外部からの
セキュリティ脅威



5. 法的要件と
コンプライアンス
要件



6. ハイブリッドのメール
環境とMicrosoft 365への
移行の管理



7. Teamsの
データ構造



1. 意図せぬ削除

たとえば、ユーザーを削除したとします。意図したかどうかにかかわらず、その削除はネットワーク全体でレプリケートされると共に、そのユーザーのOneDrive for Businessアカウントとメールボックスも削除されます。Microsoft 365のネイティブのごみ箱やバージョン履歴ではデータ消失に対する保護が限定的です。Microsoft 365がデータを地理冗長的に永久に削除してしまった場合、あるいはデータの保持期間が切れてしまった場合には、単純なバックアップジョブが大きな問題に変わってしまいます。

Microsoft 365プラットフォームでは、2種類の削除があります。ソフト削除とハード削除。ソフト削除の一例は、「削除済みアイテム」フォルダを空にすることです。これは、「完全な削除」とも呼ばれますが、この場合、アイテムはまだ[回復可能なアイテム]フォルダで見つけることができるため、ここで言う「完全」とは文字通りの「完全」ではありません。ハード削除とは、アイテムが、メールボックスのデータベースから完全に削除されるようにタグ付けされることです。一度これが行われると、復元することはできなくなります。しかし、適切なフェイルセーフとしてのバックアップソリューションがあれば、意図せぬ削除によってデータを失うことはありません。





2. 保持ポリシーのギャップと混乱

このデジタル時代では、ビジネスの目まぐるしい変化のおかげで、ポリシーも絶え間なく進化しています。保持ポリシーに遅れをとらないようにすることは大変で、ましてやその管理については言うまでもありません。ハード削除やソフト削除と同じように、Microsoft 365のバックアップと保持のポリシーにも制約があり、特定状況のデータ消失を回避できるだけで、あらゆるものをカバーするバックアップソリューションとなるようには設計されていません。

メールボックスアイテムのポイントインタイムの復元という別のタイプの復元も、標準のMicrosoft 365ライセンスには含まれていません。壊滅的な問題が生じた場合、バックアップソリューションでは、問題が発生する前の指定時刻に遡ることができ、窮地を免れることができます。しかも、Microsoft 365専用で作られたバックアップソリューションなら、保持ポリシーのギャップも生じず、リストアも柔軟です。短期的なバックアップも長期的なアーカイブも、あるいはきめ細かいリストアもポイントインタイムのリストアも、あらゆるものをいつでもすぐに使用できるため、データ復元を迅速、簡単に、信頼性の高い状態で行えます。





3. 内部からのセキュリティ脅威

セキュリティ脅威と言うと、ハッカーやウイルスが頭に浮かぶでしょう。しかし、多くの企業は、社内から発生する脅威に直面しており、その脅威は想像以上の頻度で発生しています。組織は、意図的でもそうでない場合も、自らの従業員によって生じた脅威の被害者となります。ファイルや連絡先へのアクセス権はあまりにも素早く変更されるため、最も信頼を置いてきたそれらのデータに注意しておくことが難しくなる場合があります。

Microsoftには、通常のユーザーと、退職する前に重要な会社のデータを削除しようとする解雇された従業員の違いを知る方法がありません。さらに、一部のユーザーは、ウイルスに感染したファイルをダウンロードしたり、信頼できると思ったサイトに意図せずユーザー名とパスワードを漏えいしたりすることによって、知らない間に深刻な脅威を生み出しています。もう1つの深刻な例は、証拠の改ざんです。従業員が、自らにとって不利なメールやファイルを巧妙に削除することを想像してください。これらのオブジェクトを法務部門やコンプライアンス部門、人事部門の手に届かないようにするのは、オフサイトやクラウドでMicrosoft 365データが適切に保護されると、こうした内部の脅威に対抗するための保護層が追加され、データの安全性と復元性が確保されます。



4. 外部からの セキュリティ脅威

もちろん、外部からの悪意ある脅威もあります。ランサムウェアのようなマルウェアやウイルスは、世界中の組織に深刻な損害を与えています。会社の評判だけでなく、社内のデータおよび顧客のデータのプライバシーとセキュリティも同様にリスクに晒されます。

外部の脅威は多くの場合、メールや添付ファイルから簡単に侵入してきます。特に感染したメッセージが非常に説得力があるように見える場合は、何に注意すべきかについてユーザーを教育するだけでは必ずしも十分ではありません。Exchange Onlineの、制約のあるバックアップと復元機能は、深刻な攻撃に対処するには不十分です。定期的なバックアップ、特にバックアップサービスを利用してオフサイトやクラウドで管理するバックアップでは、Exchange Onlineの限られたバックアップと復元の機能をはるかに超えて、データの個別のコピーが感染せず、迅速に復元できるようにします。また、Microsoft 365 Backup Storageと統合されている随一のバックアップソリューションであるため、組織が大規模なデータセットのランサムウェアから迅速に復元できるようにします。





5. 法的要件と コンプライアンス要件

法的手続きの中で、予期せず、メール、ファイル、またはその他の種類のデータを入手する必要があることがあります。実際に起こるまでは、自分に起こるとは考えもしないような出来事です。Microsoft 365にはいくつかのセーフティネット（訴訟ホールドと保持）がソフトウェアに組み込まれていますが、これらは堅牢なバックアップソリューションとは程遠く、貴社を法的な問題から守ることはできません。

信頼性の高いバックアップサービスを使用すれば、訴訟ホールドを導入する前に意図せずメールまたはドキュメントを削除してしまった場合でも、復元して法的義務を果たすことができます。法的要件、コンプライアンス要件、およびアクセスに関する規制は、業界や国によって異なりますが、罰金、違約金、および法的争いの3つは、できれば避けて通りたいものです。

ましてや、私たちの多くは、変化し続ける法律、規制、要件に追いつく余裕がないため、どこから始めればよいかわからない場合でも、バックアップサービスがこれらを代わりに処理してくれます。コンプライアンス要件や法的要件を満たすのに役立つ監視機能やレポート作成機能を備え、バックアップサービスの導入でもたらされるスピードと使いやすさにより、これらの要件を満たしているという自分自身の安心感を数分のうちに得ることができます。





6. ハイブリッドのメール環境とMicrosoft 365への移行の管理

Microsoft 365を採用する組織には、通常、オンプレミスのExchangeとMicrosoft 365 Exchange Onlineの間の一時的なウィンドウが必要です。メールシステムの一部がオンプレミスに残り、残りがMicrosoft 365 Exchange Onlineに移行するこのセットアップは、追加の柔軟性と制御性を提供でき、実際に一般的です。ただし、その分、特にバックアップに関しては、管理がさらに複雑になります。複数の環境を管理するには、データフローがスムーズで、データが保護されるように注意深く監視する必要があります。

そこでMicrosoft 365バックアップサービスが非常に重要になります。適切なMicrosoftバックアップサービスは、ハイブリッドのメール環境を効率的に処理し、オンプレミスシステムのExchangeデータとMicrosoft 365のデータを同じように扱います。ソースの場所に関係なく、バックアッププロセスが簡素化され、複数の個別のシステムを管理する必要がなくなります。



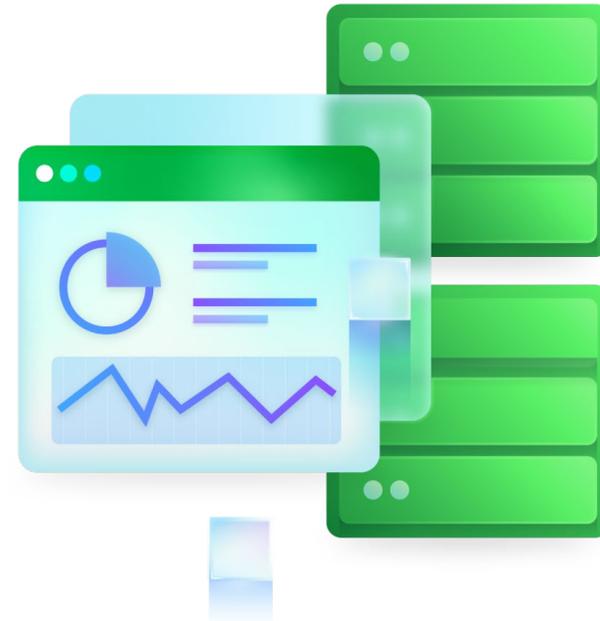


7. Teamsのデータ構造

かつてないほど多くの人々が、コラボレーション、プロジェクト、特別な取り組みのためにTeamsを積極的に導入しており、すべてがますます急速に進んでいます。ただし、プロジェクトが完了した後は、法的要件やコンプライアンス要件などの長期的なニーズに備えて、プロジェクトのコピーを保持することが重要です。組織では、しばしばここで問題が発生します。こうしたTeamsは意図する以上に誤って削除されてしまったり、保持が誤用されてしまうケースが多く、その結果、ファイルや必須ドキュメントを利用できなくなってしまうのです。

Microsoft 365のバックアップサービスを利用すれば、このようなことはありません。誰かあるいは何かが大切なデータを削除しても、データは常にそこにあります。これは、短期的なシナリオでも役立ちます。たとえば、従業員がTeamsの会話で不適切な発言をして、そのメッセージを削除した場合でも、バックアップから簡単に取り出すことができます。Teamsのデータは、わずか数回のクリックで復元され、人事部門が確認できるようになります。

何よりも、バックアップを信頼することが基本です。それらが存在し、適切に保護されていることがわかれば、未知のものからの保護が実現するだけでなく、消失したり誤って削除されたりしたTeamsやチャンネルをさまざまな方法で復元できます。Microsoft Teams専用のバックアップサービスを導入すれば、どのような状況でもどのようなタイミングでも、大切なデータはいつでも利用可能です。



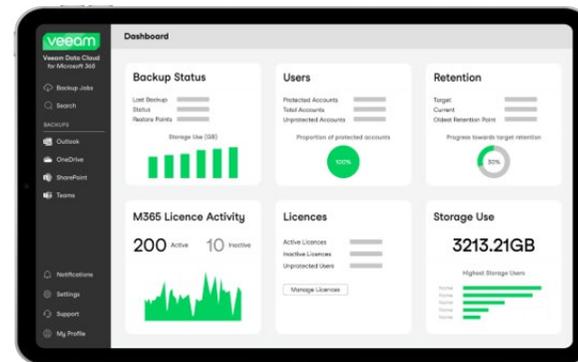
まとめ

少し時間を取って、現在のセキュリティ体制を評価してください。もしかしたら、自分でも気づかなかったギャップがあるかもしれません。Microsoft 365を導入することで、あなたはすでに賢明な判断を下しています。今度は、すべてのデータにアクセスできて、データを完全に制御できるバックアップサービスと組み合わせて、データ消失の不要なリスクを回避しましょう。

ソフトウェアソリューションに関連する時間、お金、リソースを投資する必要はもうありません。**Veeam Data Cloud for Microsoft 365**なら、無制限ストレージなどのオールインワンサービスをご利用いただけます。また、3つのプランの中からいずれかを選択していただくことで、貴社のバックアップ目標とディザスタリカバリ目標を達成できます。バックアップと復元のスピードと規模、制御性と柔軟性、またはその両方の組み合わせのいずれが必要であっても、VeeamはMicrosoftと協力して、データを常に保護し、復元可能な状態とし、ビジネスのニーズに合わせてスケーラブルな状態とすることを保証します。

このレポートを有用だと感じた場合は、同僚の方にメールで共有されることをお勧めします。[こちらからレポートを転送できます](#)。

Veeam Data Cloud for Microsoft 365 回復力のあるデータ保護でシンプルに



- 信頼性が高く、業界をリードするMicrosoft 365バックアップ技術
- 無制限のストレージを備えた包括的なバックアップサービス
- 新しいMicrosoft 365 Backup Storageを活用

➔ [製品デモを申し込む](#)

➔ [お問い合わせはこちら](#)